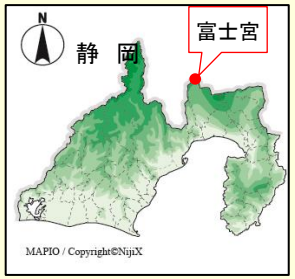
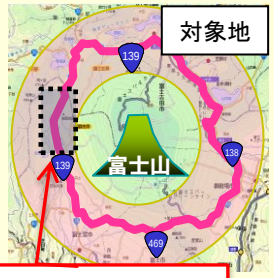
富士山朝霧高原景観管理協議会について

当協議会は、平成 26 年度国土交通省の社会実験を機に立ち上げた団体です。

富士山麓の静岡県富士宮市朝霧高原の自治会を中心に、企業、観光事業者団体、ＮＰＯ、国・県・市が協働して、住民主体で富士山の西麓に広がる朝霧高原の“道路景観”を維持管理する活動を行っています。

〇除草・清掃
〇活動資金の確保
・マルシェの実施
・道路空間を活用して自動販売機の設置
・協力募金等





道路協力団体制度とは？（国土交通省）

国土交通省が平成 28 年に道路法を改正し、道路の維持管理をＮＰＯ等に担ってもらうため、道路協力団体には、公的な活動（除草・清掃・植栽、修景など）を行うために、道路空間を活用して収益活動（オープンカフェ、マルシェ、広告等）ができるように規制緩和されました。

平成 28 年 12 月に当協議会をはじめ、全国で 20 団体が第１次指定を受けました。

収益活動で得た資金を道路の維持管理に還元していきます。

道路協力団体による地域課題の対応、賑わい創出

道路空間の活用イメージ

＜公益活動＞
〇除草・清掃等による道路の維持管理及び景観確保
〇植栽・花植え・簡易修繕等

収益の活用

＜収益活動＞
〇オープンカフェ・マルシェ
〇広告、自動販売機
〇レンタサイクル　等

道路空間の価値向上

地域活性化 観光振興

富士山朝霧高原景観管理協議会　構成団体

●自治会
朝霧地区（根原区／富士丘区／麓区／猪之頭区）

●企業・団体
ふもとっぱら／なかとみ牧場／富士山西麓会／道の駅朝霧高原／

●ＮＰＯ等
NPO 法人あさぎり古里創生ネット／NPO 法人まちづくりトッププランナーふじのみや本舗／駿河歩人／NPO 法人地域づくりサポートネット

●オブザーバー
国土交通省静岡国道事務所／静岡県交通基盤部道路／富士宮市都市整備部

【お問い合わせ】
富士山朝霧高原景観管理協議会
事務局：NPO 法人地域づくりサポートネット
電話　054-248-1539　　FAX 054-249-5339
E-mail　fujisan-asagiri@shizuoka-t.net
https://www.facebook.com/asagirikeikan

日本風景街道

ぐるり富士山風景街道エリア
国土交通省　道路協力団体（第一次指定）

富士山朝霧高原の景観向上活動

～みんなの富士山を美しく！～

富士山朝霧高原景観管理協議会

2018 年 3 月作成

朝霧高原の景観向上に関する取組の経緯

H17 年国道 139 号道路景観ワークショップが開

富士宮市朝霧高原で住民や企業、行政により、国道 139 号など道路から見た景観の保全・向上を目指したモデル的な活動がスタート。現在も朝霧高原全体で継続中。

〇不用看板の撤去・集約化
〇プチメンテナンス（修繕・美化活動）
〇ごみゼロ活動キャンペーン　など

H19 年日本風景街道「ぐるり富士山風景街道」認

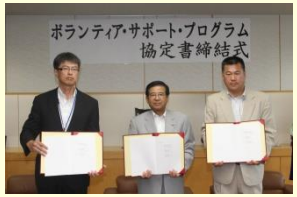
富士山麓を取り巻く 11 市町村の行政・民間により国交省の「日本風景街道」に認定。朝霧高原はその風景街道のモデル的な活動を実施してきました。

H26 年　国土交通省社会実験

国道 139 号沿道の景観を維持管理するための仕組みづくりの社会実験を実施。この実験の課題や成果を基に、道路協力団体の制度や住民団体に維持管理の委託制度などを提案し、持続可能な取組みに向けて動き出しました。

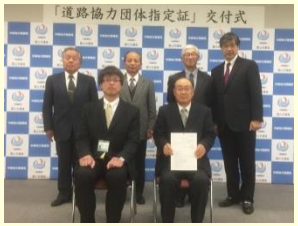
H27 年　国土交通省との協定を締結

国交省と富士宮市、当協議会が協働して国道 139 号沿道の景観を維持管理するため、「ボランティア・サポート・プログラム」の協定を締結しました。



H28 年　国土交通省「道路協力団体」指定（第 1

平成 28 年度道路法改正により創設された国土交通省の「道路協力団体」に指定され、道路空間を活用する規制緩和を受け、活動を支える資金を得ながら、維持管理を行っています。



景観管理とは？

世界文化遺産「富士山」は世界を代表する美しい景観です。しかし、道路の維持管理（除草など）が行き届かず、道路から見た景観を損なっています。そこで住民団体・事業者等が沿道の除草・清掃活動を行っています。

幹線道路の国道なので、住民団体でも安全に作業ができる「歩道」に限定して、草刈や清掃を実施しています。

国との協定により維持業者が安全対策・集草・搬出を協力してくれます。
手続きも簡素化しました。

住民団体の力で年２回程度の作業を行い、沿道が美しくなり、ごみのポイ捨ても少なくなってきました。

●クリーン＆ウォーク
美しい富士山を見ながら歩く人たちにもごみを拾いながら歩くイベントを開催しました。
また、参加者やイベント会場で来訪者から募金をいただくなどの取組もしています。

活動資金を得る（マネーファンド）

●マルシェ
道の駅や道路空間を活用して物産・飲食などを販売し、その収益を活動に充てています。
※場所：道の駅朝霧高原など

●自動販売機
道路空間を活用して自動販売機を置き、その収益を活動に充てています。
※場所：朝霧さわやかパーキング内

●現地に行かなくてもできる「ＢＯＯＫ募金」
現地に行って活動には参加できないけれど、協力はしたいという方も参加できます。

読み終えた本などを募金にする「ＢＯＯＫ募金」で査定額が活動に寄附されます。

ＢＯＯＫ募金のＱＲコード

●募金活動
美しい富士山を楽しむウォーカーやイベント会場で来訪者から、活動のための募金をいただくなどの取組もしています。
また、朝霧高原の観光施設やお店の協力により、店頭での協力募金も行っていきます。

おそうじ募金